

J B D F 東北ブロック昇降級規定

平成22年1月1日施行

【プロフェッショナル昇級規定】		
級	摘要事項	昇級時期
B級⇒A級	自己級の競技会において3位以内(上級競技会 における決勝も含む)に合計5回以上入賞した とき。	年度末
C級⇒B級	自己級の競技会において3位以内(上級競技会 における決勝も含む)に合計5回以上入賞した とき。	年度末
D級⇒C級	(イ)自己級の競技会において3位以内(上級競技 会における決勝も含む)に合計4回以上入賞し たとき。	年度末
	(ロ)自己級以上の競技会で優勝したとき。	即日
N級⇒D級	上級競技会において出場組数が 3～6組(優勝したとき) 7～12組(決勝に入賞したとき) 13～24組(準決勝に入賞したとき) 25組以上(最終予選に進出したとき)。	即日

【アマチュア昇級規定】		
級	摘要事項	昇級時期
B級⇒A級	(イ)全東北クラスの選手権で6位以内に入賞したとき。	年度末
	(ロ)自己級以上の競技会で3位以内に入賞したとき。	年度末
	(ハ)自己級以上の競技会で6位以内に2回以上 入賞したとき。	年度末
C級⇒B級	(イ)全東北クラスの選手権で準決勝に入賞したとき。	即日
	(ロ)上級競技会で6位以内に入賞したとき。	即日
	(ハ)C級競技会で3位以内に入賞したとき。	即日
	(ニ)C級競技会で6位以内に2回以上入賞したとき。	年度末
	(ホ)自己級以上の競技会で準決勝に4回以上 入賞したとき。	年度末
D級⇒C級	(イ)県選手権で準決勝に入賞したとき。	即日
	(ロ)上級競技会で6位以内に入賞したとき。	即日
	(ハ)D級競技会で3位以内に入賞したとき。	即日
	(ニ)D級競技会で6位以内に入賞し且つ自己級 以上の競技会で準決勝に入賞したとき。	年度末
	(ホ)自己級以上の競技会で、準決勝に4回以上 入賞したとき。	年度末
E級⇒D級	(イ)E級競技会出場組数3～6組(1位のみ)。 7～10組(2位まで)。11～20組(3位まで)。 21～30組(4位まで)。31～40組(5位まで)。 41組以上(6位まで)。	即日
	(ロ)上級競技会で6位以内に入賞したとき。	即日
	(ハ)E級競技会において6位以内に2回以上入賞 したとき。	年度末
N級⇒E級	(イ)ノービス競技会出場組数3～6組(1位のみ)。 7～10組(2位まで)。11～20組(3位まで)。 21～30組(4位まで)。31～40組(5位まで)。 41組以上(6位まで)。	即日
	(ロ)上級競技会で6位以内に入賞したとき。	即日

【プロフェッショナル降級規定】		
級	摘要事項	降級時期
A級⇒B級	自己級の競技会で決勝に5回以上入賞しなかつ たとき。	年度末
B級⇒C級	自己級以上の競技会で決勝に4回以上入賞しな かったとき。	年度末
C級⇒D級	自己級以上の競技会で決勝に4回以上入賞しな かったとき。	年度末
D級⇒N級	自己級競技会に2回出場しなかったとき(内1回は ライジングスター戦も可)。	年度末

【補則規定】

1. 摘要事項に1つでも該当した場合は、昇級または、降級する。
2. 登録年度(1競技年度とは)その年の1月1日から12月31日までとし、
その年度内に昇級した選手は、その年度内は、降級規定の適用を受け
ない。次年度は、昇級したクラスからスタートする。
3. 決勝とは、6位までとし、7～8位は準決勝扱いとする。
準決勝、最終予選は、残った組全員とする。
4. 全東北クラスの選手権とは、東北オープンダンス選手権と、全東北ダンス
選手権の2競技会のことである。
5. 特別昇級:C級以下の選手が抜群の成績を得た場合は2階級以上の
昇級を認める場合もある。但し競技部において審議し、東北ブロック理事会
の承認を得るものとする。
6. 昇級規定と降級規定に同時に適合する場合、昇級規定を優先させる
こととする。

【アマチュア降級規定】		
級	摘要事項	降級時期
A級⇒B級	自己級の競技会で準決勝に4回以上残らなかつ たとき。	年度末
B級⇒C級	自己級以上の競技会で最終予選に3回以上残ら なかったとき。	年度末
C級⇒D級	自己級以上の競技会で最終予選に1回も残らな かったとき。	年度末
D級⇒E級	自己級以上の競技会で1次予選を1回も通過しな かったとき。	年度末
E級⇒N級	自己級競技会に1回も出場しなかったとき。	年度末

平成30年2月11日改正